

# 新潟県公民館月報

昭和37年4月1日(毎月1回1日発行)

発行所 新潟県公民館連絡協議会  
(新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内)  
電話(新潟) 34111の654  
振替(新潟) 4094  
発行人 安 沢 純 正  
(定価 1部10円)

4月号 (110号)

## 初の県職員講習会を終る

三月五日から十二日間、県青年の家で開催された公民館職員講習会は、県で行なう初の本格的講習会として、本腰を入れたカリキュラムと熱心な受講生の熱意が公とが相まって多大な成果をあげた。県では今後県内の職員に対し、毎年五十名ずつ四カ年にならわって受講させる方針で切り切っており、文部省でも全国のモデルケースとして注目している。

講習会がまず開講式にふさわしい盛り上りを示した。自由県教育委員。受講生は事故欠席の二名を除く長あいさつ、安沢く四十八名。午前九時本会会長の祝辞、四から午後九時までの一日目には塚田知事がう文字通りきつしり語激励のため会場に見つた日程にもかかわらざるなど、本格的講習、各講師もおどろく

## 本格的カリキュラムの成果

### モデルケースとして文部省も注目

三月五日から十二日間、県青年の家で開催された公民館職員講習会は、県で行なう初の本格的講習会として、本腰を入れたカリキュラムと熱心な受講生の熱意が公とが相まって多大な成果をあげた。県では今後県内の職員に対し、毎年五十名ずつ四カ年にならわって受講させる方針で切り切っており、文部省でも全国のモデルケースとして注目している。



【写真は受講生を激励する塚田知事(金井町石塚氏撮影)】

## 知事が社教委員会に出席

県青年の家の公民館職員講習会の四日目、三月八日午後一時より同ホールで行なわれた県社教教育委員会に塚田知事が出席し、社教育関係団体代表の委員から各団体の現況と今後の問題などについて説明を受けた。知事は特に公民館に対し、次のような意見を表明し、注目された。

「公民館は、果して充分に使われているのだろうか。私が選挙運動中に見たところでは、いつ通つてみても表をよきとしておりカランドウの公民館が多かった。立派な施設を作つてやっても使われないのでは問題にならない

## 公民館の使用率に疑問がある 少ない職員が昼夜なく奮闘

— 終了後講習生に激励のことば —

いままる館だけでももっとよく使つてほしい。  
また、夜間だけ使う率が多いとのことだが、夜だけなら学校を休ませよう。中、高校の開放といつてを解決できないか。これに対し、委員の本会常任理事藤原氏は、「知事が見られたのは、県内に六百余もある分館のなかのひとつとふたつと違う分館には常勤職員もおらず、昼間は使っていない場合もあるが、三日六館ある本館では、H曜祭日といえども数少ない職員が奮闘しており、知事の考えでおられるまうなことは、絶対に

知事  
庵原

「あえない」と説明した。  
長期講習生に  
知事が激励  
社教育委員会終了後、知事は青年の家二階大広間で勉強中の職員長期講習生を視察するとともに受講生一同に対し次のような励ましのことばがあった。  
「私は就任早々で社教育のことには勉強中であるが、公民館ともよくしなければならぬと考えている。皆さんもこの機会にみっちり勉強され地域に帰られたらしっかりやってもいい」  
なお、この種の会に知事が出席したのは初めてのことである。

## 4月の歴史

### ザメンホフ

一九一七年四月十四日、この日ホーランドのワルンシャワで死んだ眼科医、言語学者、国際語工スペラントを考案し、普及させた。エスペラントは「希望するもの」の意である。

目次	
全公連明年度計画の大綱まる	P. 2
公民館職員講習科目講師一覧	P. 4
特集 公民館主事講習の思い出	P. 5
61年度、社教育を顧みる	P. 6
公民館を斬るノ下越公民館研究会から	P. 7

(ザメンホフ)

# 明年度事業計画の大綱など協議

## 公民館主事必置制への法改正を促進

全公連では三月六日午前十時から理事会を開催、守田会長をはじめ各副会長、理事(和田理事欠席)が出席して当面の重要会務を協議したが、おもな決定事項はつぎのとおり。

### 全公連理事會

- 一、明年度予算と事業計画
  - ①予備規模と事業計画の大綱はおおむね前年度に準ずるも、公民館七事の長期研修を新たに計画する。
  - ②振興対策委員は、予算の増額と
  - ③評議員会は四月下旬に開くこと

- 二、第十一回全国大会
  - ①会期を九月十一日からに改める(地元を要請による)
  - ②参加費を四百円に改める
  - ③全国共通テーマを別項のとおり決定、その他記念講演の講師の選定ならびに今後の大会のあり方について意見交換
  - 三、各県公連からの要望事項

三月六日開催の理事會で決定した昭和三十七年度公民館大会の全国共通研究協議会はつぎのとおりである。

【研究協議題】  
 地域社会の文化の創造発展に資するため、公民館の経営をいかに改善充実すべきか。

【説明】

### 公民館大会 共通テーマ きまると

- ①地域社会の文化の中心としての公民館の現状の反省
  - ②時代に即応する公民館経営の近代化と事業のあり方
  - ③事業の展開に必要な職員の充実と資質の向上ならびに施設、設備を速かに整備するための方策
- (全公連連報)

## 青少年の育成はまず指導者の拡充から

### 県へ「指導者拡充研修」実施請願書を提出

四月一日から、県青少年保護育成条例が施行されることになった。これにさきたち本会では「青少年の健全なる育成の要諦はまず指導者の拡充から」という見地から、さきに県に対し下記理由による青少年指導者拡充研修の実施を要請していた。本会では統計九十余万円を要請していた。本会では六月県会において予算の実現方をうながすため、請願書を作成し、丸山直一郎氏を紹介議員に依頼するとともに、本会役員が四月十八日塚田知事に会見、さしに要請することになっている。

### 「青少年指導者拡充研修」実施請願理由(要旨)

- ① 急激な社会の変貌に対応して、青少年は地域的、職業的、階層的に大きく動いています。ここに青少年指導者たるもの、専門的、基礎的教養なくして、これらの点を十二分に把握し、指導することにはできないと信ずるものであります。
- ② 青少年教育の振興は、成人、婦人教育及びその他の社会教育活動の進展と表裏一体であり、さらには学校教育、幼児教育とも無関係ではありません。青少年教育を中核としての地域の総合社会教育計画の立案と展開を大きく推進するの要、今日より急なるはないと思ひます。しかしこれが第一線におけるにないは、自然とも許している。わが公民館でございます。ここに本会が「青少年指導者拡充研修」を進んでやらせて頂きたいと自覚と熱望があるのであります。
- ③ 都市といわず、農村といわず、いずれの教育機関や、学習組織にも所属していない青少年の把握と指導これを遺憾ならしめんがは、適格な指導者を、各地域に満配することでありませう。ここに地域の隅々にまで機構をもつ本会が、青少年指導を拡充されるの要を痛感するものであります。
- ④ 青少年教育の専任指導者及び専用施設の設置の必要なるは言をまたないところでありませう、これを今日直ちに実現することの至難はまた否定できません。ここに公民館がこの役を買って出ようとする場合これは案外容易であることを確信するものであります。
- ⑤ 勤労青少年の立場を尊重し、それに対する社会的評価を高め青少年に夢と希望を与えるように努力しているのは、わが公民館であります。この経験に基づいて、標記研修会の実施を御対応くださいましたら青少年保護育成条例を発動する事無くとも生まれてこないことを確信いたします。

以上の三件については重ねて研究することに決定

四、事務局職員通勤手当支給内規の改正

従来月額五百円を七百五十円に改めることに決定。

前回の大会では、進展する時代に即応する公民館のあり方をもちめて、現状の反省と将来への展望に多大の成果をおさめたが、本年はいっそうこの研究を進め、とくに産業の高度成長に平行する地域社会の文化の開發を促すため、公民館はどのようにその経営を改善充実していかなければならぬかを研究討議しようとするものである。

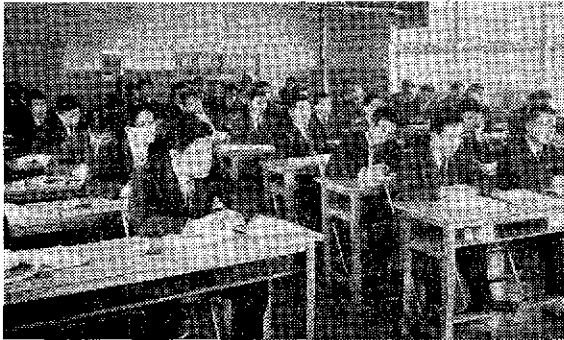
## 新フィルム紹介

- ① 村の老人学級 ③巻32分 叔家庭の主婦たちのためにも、青年成人、世代の違いからくる解りやすく説明している。(新潟、中越)
- ② 断崖をつつめよう、みずから ③巻32分、青年、成人、家庭の活動を記録したもので、老人たちの積極的な生き方を示すと主婦の生活を中心として、そのために、家庭における老人を合問題点をえがき、あわせて実察めたい人間関係のあり方について生活のいろいろな事例をあけてひとつの道を母えていく。(新潟、上越、中越、佐渡)
- ④ テレビ憲法 ③巻31分、小中、高、青年、成人、小学校、綴方コンクールの入選作を映画化したもの。ある農家に例えとり家庭内の話し合いによってテレビを見るためのきまり「テレビ憲法」が生まれ、これが家庭内の助け合いにまで発展してゆく姿をえがいたもの。(新潟、佐渡)
- ⑤ 幼児の習慣づけ 習慣はいろいろな角度から追求してその夫人の性格形成に重要な役割を果しているが、早くもその基礎は幼児期うちに固まるといわれる。その習慣づけの目標と方法とについて考えてみる。(中越、佐渡)
- ⑥ 家庭電気器具の使い方 ②巻29分、青年、成人、家庭電気器具を正しく扱えるようになるには、電気の基礎的な知識を必要とする。この映画は初歩的に必要な学校教材と同時に、一供正しく成長させることが出来る。若い女教師の体験がPTA活動への示唆をもたらした物語である。(新潟、上越、下越)
- ⑦ 農村は変わる ②巻19分、青年、成人ある村を中心に、村が当面する経営改善、人口問題機械化、工場誘致などの諸問題を追いつながら、新生をめざして努力する姿を描いたもの。(新潟、上越、下越、佐渡)
- ⑧ 恐るべきたべもの ②巻21分、青年、成人、われわれが日常たべている物の中には、どんなに有害でおそろしいものがあるかをいろいろな角度から追求してその夫人の性格形成に重要な役割を果しているが、早くもその基礎は幼児期うちに固まるといわれる。その習慣づけの目標と方法とについて考えてみる。(中越、佐渡)
- ⑨ 母と子供と先生と ③巻33分、成人、お互いの話し合いでつながりを深め、子供たちを正しく成長させることが出来る。(新潟、上越、下越)

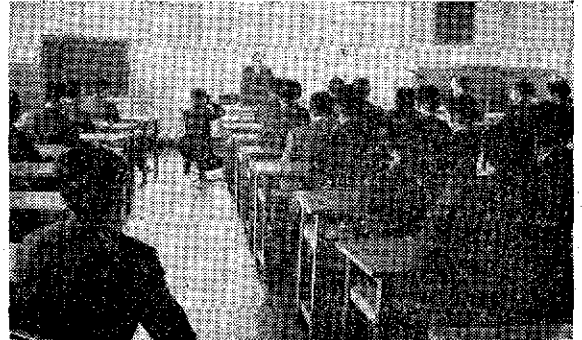


# 公民館主事講習の思い出

## 特集



【講義は一言も聞きもらすまいと熱心にノートする受講生。二十代の新進から三十代の働きざかりを中心に。四十代のこの道十年のベテランまで、県公民館の将来を背負ってたつ顔々】



【三月五日午後一時より厳粛に行なわれた開講式。NHKテレビからも取材にきていた。吉田県教育委員長のあいさつからはじめられ安沢本会会長も祝辞をのべた】



【開講式前夜教育庁首脳を交え慰労会が行なわれた。いっしょに「主事の歌」をうたう受講生。机にはパラエテーに富んだ献立が並んでいる】



【講習八日目、講義もいよいよ油がのってきた。理論、概論の段階を終って学級講座経営法について学ぶ。講師はおなじみの山田、中浜の県社教主事、紅一点の高井先生のお顔に見とれている者もある】

### 受講感想記

#### 身心を洗われた思い

小林美鈴

男琴を夜の秀といわれている公民館職員のと同時に社会教育という難関に、舟を漕ぎたし長期講習が、全国の「トップ」を切って、本県で開催されたことに、誇りと、感謝が、私の胸中に同居しました。

教育界としての本県に生れた幸福をしみじみかみしめておられます幸いにして第一回講習会に参加できた私は、十二日間の文字通り詰切り授業に、身心を洗われた思いでした。第一回と二回という受講品位と、開催関係者の誠意に感服するべく、一日九時間の連続学習に、真摯な姿勢で、終始したつもりでした。今こうして現場に帰えり、楽しく過ごした講習期間と、なつかしい青年の姿に思いを馳せる時、何か一歩前向きに立たせられた感じきりで、明日からの基盤整備に心躍るものを覚えます。

県公連の本田主事さんから感想を求められましたが元来愚鈍の私、感想も一口一句しかでない始末、おくれしましたことを、おわびいたします。ミス県公連笠原嬢と共に私たちのより良き道標だらんとを祈念して感想といたします。(刈羽郡西山町公民館主事)

#### 主催当局の労苦に感謝

- 加茂市 青木 修 策
- 田上村 鶴巻 新一 郎
- 畑野町 打木 一

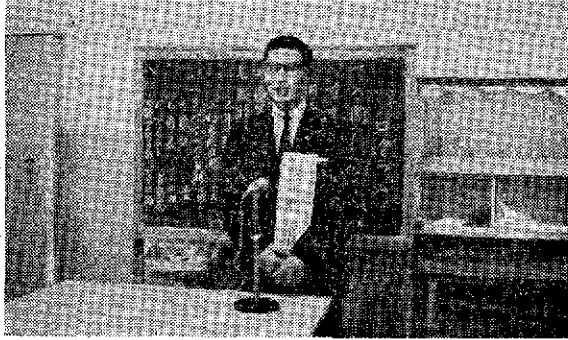
(ツルハ海) 同宿)

連日、午前九時から午後八時半ないし九時まで、きつめの種まれた日程、の中の生活は正直に言って苦しかった。日ごう自分の職場では、もっと時間詰めのごともあるし、夜更かしが続いてもあるが、他から規制された生活はまた別。不規則な生活になれきってしまっている自分をあらためて認識させられた。盛りのような内容を、系統的にしかも、各々方面からそれぞれの専門講師を招いて種まれた講習日程を、ほぼ計画どおりに前後の変更もな

く実施しおえたこと、講師の特別の御効力があってのことはいえ、めん密な計画立案に当たられた主催当局の労苦のたまものと感謝したい。頭切の苦しかったという旨は必ずしも日程の組み方が無理であったという意味ではない。集団生活の規律という面を考慮すれば、むしろ余裕を得た時間制であったといえる。また講習準備も、受講者が終始受け身の立場に立たされたことは否み得ない。あと三日間への講習期間を伸ばしてはじめて、各講室ごとに講師研

受講感想記後着分は次号に掲載する予定です。

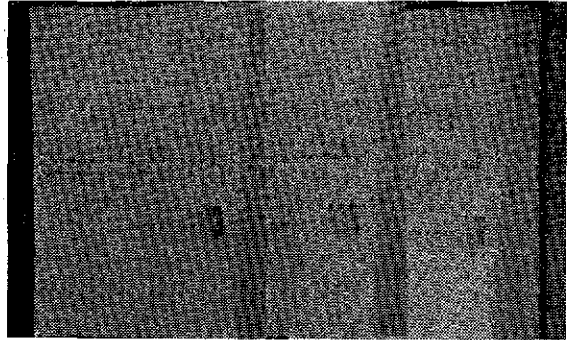
# ああ、あの顔であの声で 第一回



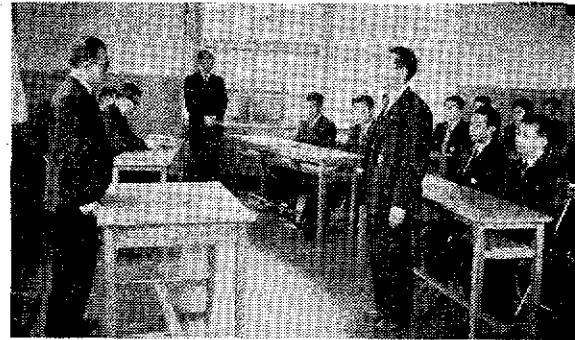
【塚田知事？は「主事の月給三万円以上。施設設備費全額県費負担をお約束する」とのたもうた。一慰労会での受講生の出しもの「再会、から一】



【慰労会で「公民館主事の歌？」を合唱するプロデューサー兼裏方さん。左から笠原さん、庵原氏、坂爪社教主事、荏谷さん、小野塚課長、伊藤社教主事、金井係長】



【受講生48名に交付された受講証明、ワラ半紙でタイプ印刷だが県教育委員長のハンコは本物。「公民館職員講習受講証明書」と書いてある。本物の修了証書は石版刷りの立派なものを六月頃交付することになっている】



三月十六日午後一時、松原教育次長から受講証明書を拝受。受講生を代表し松苗吉俊親分？が謝辞を述べた。日頃公民館の劇務に堪えている主事さんも十二日間のガリ勉でいささかグロッキー。万感こもこも帰途につく。

究の時間を充分にとともに、更に実のある演習の時間をもちたかった。  
受講者の発言に、意見と要事項が多かったのは、仕事に対して意欲的なればこそというところが出来る。しかしもつと自分の内部に向けられるものがあつて然るべきだと反省される。

## いままでの不勉強を反省

外 川 公 治

その意味で最後の日の松苗親分の発言はしみじみと身に沁るものがあった。  
十二日間一切の面倒を見てくださった伊藤先生はじめ、給食、事務の方々に特に礼を申し上げたい。

十二日間の生活は有意義でありまた楽しいものであった。頭が悪い関係上、残念ながら受講生全部の名前と顔を一致させることはできなかったが、班内における親しみは格別だった。十五日夜の、お別れパーティでの出し物はみなセンスのあるものばかりで思ひ出深い。講習資料が目主に基本的なものでつづこんだ話があまのり出なかつたのは残念であった。例えばはぐまれない施設の中にあつての公民館活動とか、活動意欲の少ない住民をリードして行く公民館活動

## 単位取得にふさわしい内容

桜 井 賢 芳

全国に先がけて講習会を実現された、県教委、県公連、直接担当された社会教育課に対し謝意を表します。

第一回の受講生としての感想を述べて見たいと思います。講習内容が公民館主事の資格に関する単位取得にふさわしいものであったと思います。

日程については、昼夜の別なく活動している公民館職員でも十二時間の時間割にはちょっと無理があったのではないかと思います。夜間の講義は隔日位に計画していただきたかった。会場は第一回のため新築にされたものと思いますが、中、上越と移動願いたい。

時期は今回のように年度末ではお互い職場が気になりますので、五六月か中秋の頃がよいのではないかと思います。

最後に全期間を通してお世話下さった伊藤主事さんに対し、大いなる感謝の意を表します。  
(六日町公民館)

## 公民館主事の歌

(山男の歌の曲)

作者不詳・指導松原教育次

長(低音)(風邪性)小野塚

課長・合唱長野藤野合唱団

一、娘さん、よ、よ、よ、よ、

主事さんにやられるな、

長期講習をや、

若妻さんだよ、

二、主事さんよ、よ、よ、

娘さんにやられるな、

娘さんは、

(注)ソートンカラたよ

三、娘さんよ、よ、よ、

主事さんの好物は、

君の使りとよ公民館だよ

(注)シャベットリン

と共に全期間の詳説せる

旅行の場にして二色よりな

るもの

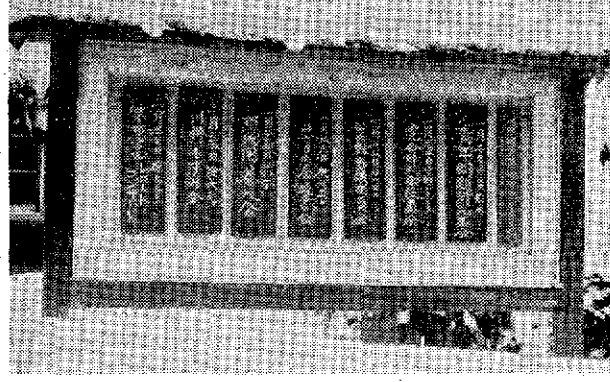
# 61年を顧みる

## 婦人教育課が誕生

ことは、掛け声ばかりの響があつた社会教育に具体性を与えて発展を期しようとした年であつた。一般からの注目をもちも集めたものに婦人教育課の新設がある。

## 社会教育

外村てい初代課長が文藝省三代目の女性課長であつたこと、しかも、深瀬(みお)つくし」などの作者、外村繁氏の夫人であつたことなどもあつてジャーナリズム



写真は加茂市公民館の行事広告板。青年問題研究集会というのも見える (加茂公提供)

の好しよなつた。その外村新課長も就任後同もなく乳ガンが再発、同じくガンで死した夫のあとを追うていくこととなり、これまた広く世の同情を集めた。発定後早々このようになつてつまつき、内容面では見るべきものはなかつた。ただこれも大きく社会的関心と呼んたものとして「純

近の技能者不足の緩和を図ろうと用化学、土木、酪農、果樹栽培、いたつもの。さうして各地域類型に応じ、商業実務などの課程を新設すること。検定試験を目前でやる

青年学級へテコ入れ  
ことしの四月からはじめて予算がついて注目されたものに成人学級がある。四百万円というわずかな予算だが、農村青年の都市流入にともない年々減少の一途をたどつていける青年学級に変わる社会教育施設にしたい、というねらいもあつて文部省は大ハッキリ。そのせいか、このところ成人学級の人数はすばらしく、場所によっては

で効果のうえではほゞ然としたイメージしか与えなかつた社会教育あるが、残り六千六百十九市町村がまだ未設がない看板だけという状態。これを十一年で整備、全国市町村に最低一館は設けようといふわけで、青年学級婦人学級などの教養ともなる社会教育の重点だけにその成果が注目されている。また内容のほうも「村の古い風物

この展覧会の水準は全国的にも高く、本年二月文部省主催で開かれた全国展覧会披露で本県の書道部門の出品は文部大臣賞を受賞しているほどである。審査品は今回全国一流大家をわすらわしてゐるが、今回は日展評議員岩田正己、美術評論家河北倫明、アートクラブ幹事杉金直、行動美術協会会員田辺三重松、大須賀力、木村桂二、海野建夫、辻浩典、西川寧、桑原繁邦の十氏の快諾を受けている。新潟会場は五月十五日から二十七日まで、大和百貨店(日本画、工芸)、小林百貨店(洋画、彫刻、書道)の両会場で、長岡会場は五月三十一日から六月三日まで大和長岡店とイテムラの両会場、高田会場は六月七日から六月十日まで高田市厚生会館が開かれる。

# 役にたつ”をめぐす

## 青年学級も体質改善へ

通信教育は前進  
同じことは社会通信教育にもいえる。元木文相の略問に際して社教育審議会(会長河原春作大妻女子大校長)は七月五日、「拡充の方策」として「課程の拡充、教養内容、学習指導の改善と資格付与、実施主体の備へべき条件と経営の改善」の公の援助と指導の強化の第一年度にあたることとほゞく同意願ふかい年だつたといえよう。

ことしの四月からはじめて予算がついて注目されたものに成人学級がある。四百万円というわずかな予算だが、農村青年の都市流入にともない年々減少の一途をたどつていける青年学級に変わる社会教育施設にしたい、というねらいもあつて文部省は大ハッキリ。そのせいか、このところ成人学級の人数はすばらしく、場所によっては

近の技能者不足の緩和を図ろうと用化学、土木、酪農、果樹栽培、いたつもの。さうして各地域類型に応じ、商業実務などの課程を新設すること。検定試験を目前でやる

で効果のうえではほゞ然としたイメージしか与えなかつた社会教育あるが、残り六千六百十九市町村がまだ未設がない看板だけという状態。これを十一年で整備、全国市町村に最低一館は設けようといふわけで、青年学級婦人学級などの教養ともなる社会教育の重点だけにその成果が注目されている。また内容のほうも「村の古い風物

この展覧会の水準は全国的にも高く、本年二月文部省主催で開かれた全国展覧会披露で本県の書道部門の出品は文部大臣賞を受賞しているほどである。審査品は今回全国一流大家をわすらわしてゐるが、今回は日展評議員岩田正己、美術評論家河北倫明、アートクラブ幹事杉金直、行動美術協会会員田辺三重松、大須賀力、木村桂二、海野建夫、辻浩典、西川寧、桑原繁邦の十氏の快諾を受けている。新潟会場は五月十五日から二十七日まで、大和百貨店(日本画、工芸)、小林百貨店(洋画、彫刻、書道)の両会場で、長岡会場は五月三十一日から六月三日まで大和長岡店とイテムラの両会場、高田会場は六月七日から六月十日まで高田市厚生会館が開かれる。

ことしの県展  
5月15日～6月10日

これは全県的美術界を総動員する大行事で、県内外関係者の協力で年々盛んになってきてゐる。部門は日本画、洋画、彫塑土芸、書道の全部で約二千数百点、約一千点の陳列となる。また陳列には審査員や中央大家の招待出品、県内有力作家の依頼出品、無償出品なども会場を引きしめ、展覧会をさびかに有力ならしめてゐる。

# 下越地区公民館研究会。パネル討議から

二月、十四日新潟市中央公民館で下越地区の公民館研究会が行なわれた。公民館の趣向にメスを入れてみようというので、当日、新潟日報論説委員森田甲十三氏による「公民館を斬る」と題してのパネル討議は、松本十三雄氏(新潟市教職課長)の司会となり、興味ある展開を示し、好評であった。以下そのあらましを紹介する。

## 公民館を斬る

司会 ます口の壁をとりはらうというので、日ごろ毒舌をもって囃る森田さんあたりからどうぞ。

森田 公民館はアメリカの占領政策の申し子として、新憲法の普及という仕事から出発したものだ。現在ではその憲法自体がぐらついており、公民館も目標を失って中途半端なものにとどまっているというのが実情と思う。

司会 森田さんから一歩ん深いところから斬られた感じがしますが、婦人の日を通してみた場合を中谷さんから。

中谷 公民館を斬るといっても、なっていない公民館には、斬る肉がないという感じがします。婦人会などが公民館にたより過

登壇者 森田甲十三氏(日報論説委員)  
中谷 千代氏(県社教員)  
熊倉 信次氏(中谷町教育長)  
司会者 松本十三雄氏(新潟市教職課長)

ないところで運営されている。もっと町村行政に関心をもちてほしい。

政の問題について、森田 社会教育行政と、本當の社会教育は結びついていない。現在の社会教育は社会教育行政のために動いているのではない。公民館人といふことを使っているが、これは必ずからを特殊部署として、そこに安住している証拠である。公民館へく

り人はまきまっている。公民館が竹藪になった原因の一つは教育委員が公選制でなくなったこと、もう一つは町村合併である。公民館は運動である。社会教育にたずさわる公務員で公民館人だといふようなせまいカラの中からは本當の民主化運動は生れない。公民館費住民一人当たりいくらというものは意味がない。行政自体が憲法からはずれているから、公民館も教育委

員会からはずしてしまつた方がよい。熊倉 現場人の現実の問題として、社会教育の本質を追究している時間はない。学校の建設でいろいろバックアップする者があるが、社会教育の公民館へは支持してくる母体がない。うしろなでがほしい。中谷 公民館が婦人指導につくま

るの後期中等教育がいかにむづかしいか、ということが話し合われてきた。青年学校だけではだめだ。フォークダンスばかりうまくなつても公民館職員が職業基本法も知らぬというのはすまない。新潟市 いろいろな問題が提起されたがこれらはずべて何年か前から論議されていることです。公民館は徐々に変わってきていることも認めていたきたい。婦人公問題にしても、つまらない婦人会だからこぞやるんだといふこと社会教育のよい面も認めてもらいたい。中谷 婦人教育は基礎ができていないのだから、まずここから再出発していただきたい。質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎

### ☆調査で七割は解決

身を張って打開せよ

森田

### ☆余暇の善用と企画性を

封建的事務改善の必要

熊倉

### ☆小グループもひきいれ

婦人教育は基礎から再出発

中谷

れたことはありがたいが、十年前といまと婦人たちの話の内容がそう変っていない。体験談だけはどうも、自分の考え方がない。あたえるだけ、うけるだけの方法では進歩がない。公民館での司会の仕方を変えてみた。中谷 公民館職員に二つの型がある。指導型、おしつけ型。その遊である人(協力的、仲間型)の意が、記者注、それを二つに割つたような人をのぞむ。公民館は魅力のない地域婦人会

から、この人たちが動かし身を張つてやれば必ず学校と違ってないバックアップの力が生れてくる。フォークダンスの技術だけほうまくしたが、うまく生かされていかない。森田 各層各分野を区分してみて公民館はいったいどの程度のこととまで来たかという調査をしてみることにしよう。七割以上は解決するだろう。北陸青年教師の会というのに出たとき、中学を出たばかりのこ

ろの後期中等教育がいかにむづかしいか、ということが話し合われてきた。青年学校だけではだめだ。フォークダンスばかりうまくなつても公民館職員が職業基本法も知らぬというのはすまない。新潟市 いろいろな問題が提起されたがこれらはずべて何年か前から論議されていることです。公民館は徐々に変わってきていることも認めていたきたい。婦人公問題にしても、つまらない婦人会だからこぞやるんだといふこと社会教育のよい面も認めてもらいたい。中谷 婦人教育は基礎ができていないのだから、まずここから再出発していただきたい。質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎

ろの後期中等教育がいかにむづかしいか、ということが話し合われてきた。青年学校だけではだめだ。フォークダンスばかりうまくなつても公民館職員が職業基本法も知らぬというのはすまない。新潟市 いろいろな問題が提起されたがこれらはずべて何年か前から論議されていることです。公民館は徐々に変わってきていることも認めていたきたい。婦人公問題にしても、つまらない婦人会だからこぞやるんだといふこと社会教育のよい面も認めてもらいたい。中谷 婦人教育は基礎ができていないのだから、まずここから再出発していただきたい。質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎 質問 高橋寅次郎

(八面へ続く)

